

東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会の懇談 要旨

とき 令和元年11月26日(火) 10:00～

場所 備前市役所 3階大会議室

出席者：委員13名(アドバイザー含む)

説明員(赤穂市、上郡町、備前市職員39名)

オブザーバー(岡山県2名、兵庫県1名)

事務局(備前市3名、赤穂市3名、上郡町1名)

共生ビジョン懇談会は、定住自立圏共生ビジョンの策定又は見直しを行うにあたり、令和元年11月26日に備前市役所において開催いたしました。

会議では、平成27～31年度までの共生ビジョンに係る事業検証と令和2～6年度までの共生ビジョン案について協議を行い、ご承認をいただきました。

今回の会議における委員各位及びアドバイザーからいただいた主なご意見等は、次のとおりです。

●協議事項(共生ビジョン案について)

【アドバイザー】

- ・公の取組が中心になっている。例えば、病院の研修は公立病院のみが対象となっている。地域医療を支えているのは公立だけではなく、民間もそう。公私の連携を進めるため、可能なかぎり民間へも広げてほしい。
- ・役所は事業実施よりも方向付けや政策立案することが役割ではないか。
- ・PRが大事。市長がテレビやラジオに出ているが、SNSも一つの方法。ユーチューブをやってはどうか。観光しかり、保育士の募集しかり、課題別に動画を作る。良いものを作って評判になることが大事。多くのまちがPRに力を入れている。
- ・ともりんくについて、コンテンツの問題だけではなく、絶えず更新するなど、工夫してほしい。
- ・定住自立圏は、働く場所であり、子どもを産み育てる場所でもある。子育て支援で連携できるのではないか。備前市にはプレーパークが活発に活動している。民間だが、ユニークな取り組みだ。こういう取組で各市町がつながることができないか。子育てのしやすさ、海もある。PRしだいで若者が住みたくなる。それを民間ベースでやっていくことが大事ではないか。
- ・子育て情報誌など、どこかで子育て支援を考えることができないか。
- ・関西福祉大学について、地域連携フォーラム等の開催で事業費を折半しているが、職員の人件費も相当かかっているの、費用面をもう少し考慮してほしい。
- ・こどもと学生のふれあい活動支援事業について、各市町の子どもたちが一堂に会する場を設けてもいいかもしれない。

●意見交換

【全般について】

- ・ いろいろな事業について、アンケートなどを行って、声を聞いているか。検討してもらいたい。

【民間イベント助成事業について】

- ・ 定住自立圏だけでなく、他からも重複して補助金をもらっている事例がある。同じ人たちに偏るのではなく、いろいろな人に関わってもらう必要がある。

【日本遺産・観光について】

- ・ 日本遺産シンポジウムについて、教育分野だが、インバウンドへ発展させるよう、観光分野でも検討していただきたい。
- ・ 日本遺産のストーリー性は、まさに観光に関わるもの。備前焼、閑谷学校のみでなく、井田とか、土木遺産群を含め、ストーリー性を持って取り上げていければいいのだが。
- ・ 民間バス事業者として、次世代モビリティ、インバウンドの取り込みを検討している。MaaS(Mobility as a service)という考え方があり、スマホで予約・決済ができるしくみが各地でできている。旅行者へのPRでそういう研究もいいのではないか。

【その他（次世代テクノロジー）】

- ・ 12月5日～9日までの間、西播磨科学公園都市で、次世代モビリティ、時世代サービスのイベントがある。マイクロバスを利用し、自動運転を公道で行う。スマートシティフォーラムもある。
- ・ AIやSociety 5.0をはじめ、2020年から学習指導要領で小学生のプログラミング教育が始まる。民間でも取り組みを進めてもらえる点ありがたい。こういう宣伝に予算を投じるのも一考ではないか。